



おいしい ボタニカル アート

食を彩る植物のものがたり

英国キュー王立植物園
Royal Botanic Gardens, Kew

秋田市立千秋美術館
AKITA SENSU MUSEUM OF ART

会期中無休
開館時間＝10:00～18:00(入場は17:30まで)
主催＝秋田市立千秋美術館、
ABS秋田放送
特別協力＝英国キュー王立植物園
後援＝ブリティッシュ・カウンシル、
秋田魁新報社、NHK秋田放送局、
AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
エフエム秋田、CNA秋田ケーブルテレビ
協力＝日本航空、アトリオン音楽ホール、
仲小路振興会
企画協力＝ブレントラスト

1|無名の北インドの画家、もしくは(おそらく)中国の画家(進志にジャネット・ヘン) [1810年代(活版)の複製とみられる] |水彩画、紙、1810年頃 | [ラテン語]、紙、2|アペレ・ラ・ライ豆 [1809年] |水彩画、紙、(おそらく)アラビア・ボム、紙、3|ジュゼッ・ヤコブ・リッター・フォン・ペンタ [カリブ] |1788～1803年頃 |エンダレーヴィング、手彩色、紙、4|5|デオラ・ディ・オニクス・ユース・ユース [1771年] |エンダレーヴィング、手彩色、紙、6|シゲタム・フョースト・エドワーズ [マウス・グーリック (アダム・アングロム) (フョースト・ボタニカル・マゼンシス)] |1808年 |エンダレーヴィング、手彩色、紙、7|クリス・フッカー [プラム (西洋スモモ) "ラ・ロ・イナル" |1818年] |エンダレーヴィング、手彩色、紙、8|ジュゼッ・ヤコブ・リッター・フォン・ペンタ [カリブ] |1788～1803年頃 |エンダレーヴィング、手彩色、紙、9|クリス・フッカー [モモ (ラ・ノブレス)] |1818年 |エンダレーヴィング、手彩色、紙、10|クリス・フッカー [ラズベリ・イロロ・アントワープ] |1818年 |エンダレーヴィング、手彩色、紙、11|エンダレーヴィング、手彩色、紙、12|2015年(原画1889年) |写真印刷(クロマトグラフによる画面転写) |12|クリス・フッカー [プラム (西洋スモモ) "ラ・ロ・イナル" |1818年] |エンダレーヴィング、手彩色、紙、13|ジュゼッ・ヤコブ・リッター・フォン・ペンタ [カリブ] |1788～1803年頃 |エンダレーヴィング、手彩色、紙、14|ジュゼッ・ヤコブ・リッター・フォン・ペンタ [カリブ] |1788～1803年頃 |エンダレーヴィング、手彩色、紙、すべて部分 / 1.2.3.4.5.11.13.14 |キュー王立植物園 ©The Board of Trustees of the Royal Botanic Gardens, Kew [6.8]個人蔵 Photo Michael Whiteway

2025 4.26 sat. 6.22 sun.

18世紀から19世紀、イギリスは諸外国との貿易や国内の経済発展などにより、世界中の新しい植物が導入、栽培されました。紅茶やスパイス、カカオなどの新たな植物によってイギリスの食文化は多様化し、一般家庭でも食への関心が高まります。

本展では、18世紀末のイギリス王室ゆかりの庭園で、22万点ものボタニカル・アート(植物画)を有するキュー王立植物園の協力のもと、野菜や果物、ハーブといった食用の植物を描いたボタニカル・アートを紹介します。さらに当時のティー・セットなどの食器や、ベストセラーとなったレシピ本なども展示することで、食を彩る植物のものがたりをたどりながら、イギリスの歴史や食文化、生活様式を紐解きます。

おいしい ボタニカル・ アート

英国キュー王立植物園
Royal Botanic Gardens, Kew

食を彩る植物のものがたり



関連事業

1 | ミュージウムコンサート

「ピアノで聴くイギリスの調べ」
日時=6月14日[土]午後2時開演
(45分程度)

出演=小澤叶恵氏(ピアノ)
会場=千秋美術館2階展示室
*申込不要、展覧会チケットが必要

2 | ワークショップ「果実を描く」

日時=5月24日[土]午後2時-午後4時
講師=大関智子氏
(日本画家・秋田公立美術大学助教)

会場=千秋美術館3階講堂
対象=中学生以上15名
申込=4月21日[月]
*午前9時30分より千秋美術館にて電話で受付

3 | 見どころスライドレクチャー

日時=5月10日[土]、6月7日[土]
各日とも午後2時より30分程度
担当=千秋美術館学芸員
会場=千秋美術館3階講堂
*申込不要、展覧会チケットが必要

4 | 仲小路商店街とのコラボ企画

仲小路商店街の協力店舗で本展とのコラボメニューを提供します。内容に関する詳細は、当館HPやSNSで順次紹介します。

協力店舗=ティールーム陶
仲小路コーヒー&ワイン
秋田キャッスルホテル
Branzi-no Akita

観覧料

一般1,300(1,100)円、大学800(640)円

*高校生以下は無料

*〔 〕内は20名以上の団体、前売、障がい者割引、「春の院展」および秋田県立美術館との相互割引料金

*前売券販売所=秋田市立千秋美術館、さきかけニュースカフェ、ローンチケット(Lコード:22253)

1|無名の北インドの画家、もしくは(おそらく)中国の画家(過去にジャネット・ヘントンの作品とみなされる)「カカオ」1810年頃|ガッシュ、紙/2|クリストファー・ドレーザー(デザイン)、ミントン|コーヒーカップ&ソーサー|1875年頃|磁器/3|R&Sガランド|ブドウ柄コンポート(御付き皿)|1868年|銀、ガラス/4|ダニエル・ディエゴ・エンリケ・スカーレット|ザクロ|1771年|エンブレイディング、手彩色、紙/5|おそらくインドの画家(ジャネット・ヘントンの作品とみなされる)|コショウ|1810年頃|ガッシュ、紙/6|ウィリアム・ブッカー|イチゴ「ウィルモット・レイ・スカーレット」|1818年|スタイプブル・エンブレイディング、アタラシ、手彩色、紙/7|ウィリアム・ブッカー|ブドウ「ブラック・ブランス」|1818年|スタイプブル・エンブレイディング、アタラシ、手彩色、紙/8|ウィリアム・ブッカー|リンゴ「ダウナム・カレンダン」|1818年|スタイプブル・エンブレイディング、アタラシ、手彩色、紙/9|エドワード・カルペナー|「カルペナー・薬草大全」|1814年(初版1653年)|エンブレイディング、手彩色、紙/[1.45]キュー王立植物園 ©The Board of Trustees of the Royal Botanic Gardens, Kew [2,3,6,7,8]個人蔵 Photo Michael Whiteway [9]個人蔵 Photo Brain Trust Inc.

秋田市立千秋美術館

AKITA SENSU MUSEUM OF ART

〒010-0001 秋田県秋田市中通
二丁目3-8(アトリオン)

Tel. 018-836-7860

Fax. 018-836-7862



公式HP

〔電車〕JR秋田駅下車 西口徒歩約5分

〔飛行機〕秋田空港よりリムジンバスで約40分、
タクシーで約30分

〔車〕秋田自動車道 秋田中央ICから車で約15分

*専用駐車場はありません。最寄りの
有料駐車場をご利用ください。
*車いすで来館の方はご相談ください。

